

M I N O G A O K A

みのが丘

校 是

誇り・希望・理想

華があり 挨拶があり
美しい言葉で語れる生徒

平成 26 年度

第 11 号

11 月 10 日発行

文責：羽賀正晃

全国学力・学習状況調査の分析結果について

本年 4 月に実施された 3 学年を対象とした全国学力・学習状況調査の結果について、各分野において優れている点や努力を要する点、本校生徒の傾向などを分析し教職員全員で共通理解を図りました。また、本校としての今後の取組についても協議しましたのでお知らせします。



全国学力・学習状況調査結果

- 国語 A (基礎) : 正答率 74.6%
- 国語 B (活用) : 正答率 43.4%
- 数学 A (基礎) : 正答率 51.4%
- 数学 B (活用) : 正答率 43.1%
- ※どの調査でも全国・県平均を下回り、無解答率が高い。

	優れている点 (主なもの)	努力を要する点 (主なもの)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○目的に応じて、資料を効果的に活用して話すことができる。 ○文脈に即して漢字を正しく読み、語句の意味を理解することができる。 ○複数の資料を比較して読み、要旨をとらえることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●必要な情報が読み取れるよう資料の読解の授業を多く取り入れ思考力を育成する。 ●書き手の思いを推論する力が不足しているため、自分の考えを書く時間を確保する。 ●古典に関する文法や基礎知識が不足しているため、古文の音読を繰り返し行う。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ○絶対値や正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結びつけて理解している。 ○図形の回転移動や線対称について、移動前と移動後の辺や角の対応を読み取れる。 ○多角形の内角の和を求める式の意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●複雑な計算の正答率が低いいため、基礎的な計算練習問題にて理解の定着を図る。 ●「数と式」「関数」の理解が不十分である。授業で文字に関する復習を多く取り入れる。 ●全体的に無解答率の高さが目立つ。数学の楽しさや有用性を体感させる場を大切にする。
学習状況	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣が身につけており、早寝・早起きの傾向にある。 ○地域や社会で起こっている問題や出来事に関心があり、新聞を読んでいる。 ○国語の授業が好きな生徒が多く、必要性を理解して学習している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●物事をやり遂げて達成感を味わった経験が少なく、将来への夢や目標をもてていない。 ●一日当たりのテレビゲームやスマートフォンの使用時間が多く、家庭学習時間が少ない。 ●数学の授業についての関心・意欲が低く、分からないときは諦める傾向にある。

具体の取組 … 基礎学力の向上に向けて

今年度の主な行事が 10 月で終了し、学習に集中できる時期になりました。生徒たちの学力向上を目指し、各学年の実態に合わせて実施します。

○1 年生

- ・進路についての講話会を実施済み。
- ・定期考査終了後、考査結果を参考にして数学の基礎学力を身につけさせたい生徒に、放課後 20 分程度の補充学習を週 2 日実施する。

○2 年生

- ・進路についての講話会を実施済み。
- ・帰りの会で毎日 5 分程度の復習プリントを実施する (11/4~)。
- ・放課後に補充学習を実施する (今後、不定期に実施予定)。
- ・自主学習ノートを確実に提出させる。

○3 年生

- ・放課後、希望者に個別補充学習を実施する。



今後の取組 … 授業力の向上に向けて

子どもにとって、学校生活の大部分は授業であり、その授業が分からなければ、楽しくなければ学校生活の充実は期待できません。全国学力・学習状況調査の結果をふまえて、職員一人ひとりが改善のための手立てを協議し、共通理解を図って指導力の向上に向けて取り組んでまいります。

- 【 国 語 】**
- 国語力の強化のため、全教科で共通した取組を行う
 - 授業の振り返りにおいて、自分の考えを文章で表現する。
 - 発展的な課題も準備し、それぞれの生徒の学習意欲を喚起する。

- 【 数 学 】**
- 解き方や考え方が分かるノートの書き方を指導する。
 - 類似問題に何度も取り組ませることにより考え方の定着を図る。
 - 証明などは類型（ひな形）を提示して解決のパターン化を図る。

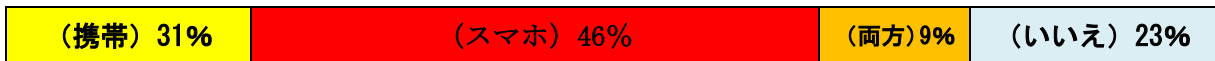
- 【 授業の充実 】**
- 個の実態に合わせて自己解決できる課題を準備する。
 - 成功体験の積み重ねに向けて、自分の成果を文章にまとめて可視化する。
 - 関心意欲を高めるために、生活の中での学習内容の活用について理解する。

- 【 家庭学習の充実 】**
- 自主学習に取り組ませるための支援のあり方について小学校と連携を図る。
 - 生徒の現状を理解してもらうために保護者との連携を密にする。
 - 「何のために学ぶのか」をしっかりと考えさせる。

携帯・スマホの使い方 … 便利さと悪影響

アルカス☆塩釜☆が市内の小中学生の「携帯・スマホ」の利用状況を把握するためにアンケートを作成しました。本校では10月10日に実施し、その結果の一部を記載しました。子どもに携帯やスマホを持たせるなら、その便利さだけでなく悪影響についても考えさせなければなりません。

○携帯やスマホを持っていますか（回答 314 人）。

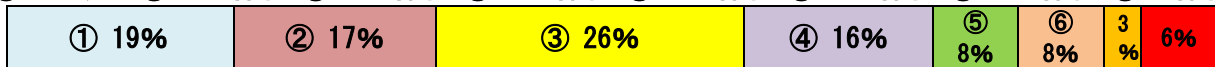


○実際にあったトラブルや困りごとは何ですか（回答 242 人）。

- ・ 会話が終わらない(31人) ・ いつも気になる(26人) ・ 知らない人からのメール(63人)
- ・ 睡眠不足(30人) ・ 時間の浪費(29人) ・ 学習に集中できない(48人)

○1日（平日）にSNS（LINE, Twitter 等）を利用する時間はどれくらいですか（回答 208 人）。

①～30分 ②～1時間 ③～2時間 ④～3時間 ⑤～4時間 ⑥～5時間 ⑦～6時間 ⑧6時間～



○1日（休日）にSNS（LINE, Twitter 等）を利用する時間はどれくらいですか（回答 207 人）。



○ネット知り合った人と実際にあったことはありますか。

- ・ ある (27人)